

事例項目	01 障害の特性理解・実態把握 02 個に関する指導 05 学校体制づくりのサポート
概要	肢体不自由がある生徒の入学に関わる相談（支援方法等について）
事例提供校	高校： 東部地区 全日制 特支： 東部特別支援学校伊東分校

事例の内容	高校からのリクエスト
	<ul style="list-style-type: none"> ・当該高等学校の管理職（校長からの依頼の後、副校長が来校）から、「入学希望の中学生に、事故による重度の身体障害（脊髄損傷と思われる）者がいます。合格し入学する場合、結果発表後の短期間では準備が間に合わないため、合格・入学した場合の、支援方法、介助のための要員について相談にのってほしい」と依頼しました。 ・高校は移転統合を控えるが、令和5年度においては、現校舎を使用するため、エレベーターなどがなく、教室移動やトイレ使用時などに頻繁な介助が必要と考えられます。
	特別支援学校からの支援・助言（センター的機能の活用）

	<ul style="list-style-type: none"> ・当該校の校舎同様、エレベーターがない状態で、特別支援学校においても児童生徒の教室移動に対応しています。また、高校併置の特別支援学校でもエレベーターがなく、スロープも一部しか設置されない状況で車いすの生徒を支援しました。階段昇降時の車いす介助の方法や段差の移動方法、階段で使用したキャタピラ付き可搬階段昇降機などについて説明し、対象者の障害状況を確認しながら、他に必要な支援内容を想定し、意見交換しました。 ・管理職からは、そのような支援経験がある職員の確保についても相談があったため、必要な技能や要件についてアドバイスしました。
--	--

センター的機能を活用した感想	高校 担当者のコメント
	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の経験を下にした情報が得られて良かったです。入学後も相談が必要になる可能性があるため、今後とも支援をお願いしたいです。
	特別支援学校 担当者のコメント

	<ul style="list-style-type: none"> ・入学後の支援についても必要に応じて相談にのる旨了解すると共に、肢体不自由教育に豊富な経験と知識をもつ東部特別支援学校本校の紹介もしました。 ・今後、校内での支援にとどまらず、進路選択などについても情報交換できると互いにとって意義があると考えます。
--	---

まとめ
<p>肢体不自由生徒に対する具体的な支援が理解され、実践された。これらにより教職員の不安感もいくらか払しょくされたように思う。高校生活に不安を感じていた生徒もいくらかは安心できたとい報告もある好事例である。今回の支援を機会に、両校の関係が継続し、生徒に対する支援が継続していくことが望ましい。</p>

※具体的な支援内容については、当該校にお問い合わせください。

事例項目	05 学校体制づくりのサポート
概要	合理的配慮に関して、在籍する車いすの生徒が作法室に入室できるために、スロープを借用したいという相談
事例提供校	高校： 東部地区 全日制 特支： 沼津特別支援学校

事例の内容	高校からのリクエスト
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間近に控えた文化祭への準備の中で、茶道部の活動に係り、在籍する車いすの生徒が作法室に入るためにスロープが必要である、という課題が急ぎよ浮上しました。 ・ 今日明日にお借りすることはできませんか。 ・ 最初に思い付いた貴校にとり急ぎお電話しました。
	特別支援学校からの支援・助言（センター的機能の活用）
	<p>肢体不自由特別支援学校である、東部特別支援学校に連絡してみてもいいでしょうか。</p> <p>東部特別支援学校には車いすの生徒が多数在籍しており、スロープなど、建物の段差に対応する機材等を所有しているのではないかと思います。</p> <p>本校は知的障害特別支援学校で、現在は車いすの生徒が在籍しておりません。</p>

センター的機能を活用した感想	高校 担当者のコメント
	<ul style="list-style-type: none"> ・ すぐに東部特別支援学校に連絡を入れ、スロープが借用できました。 ・ 当該生徒は、作法室にて、無事に他の生徒と共に文化祭の活動に参加することができました。 ・ 文化祭が間近に迫っており、とり急ぎ市内の特別支援学校に相談しましたが、そこから対応できる学校につなげていただいたことで大変助かりました。
	特別支援学校 担当者のコメント
	<p>生徒さんが希望する形で文化祭に参加することができ、本当に良かったと思います。</p> <p>今回の件で、センター的機能の活用には、どんなことでもまず御連絡いただくことが大切であることを実感いたしました。</p> <p>自校の特色を生かした支援もさせていただきますが、特別支援学校のネットワークを生かして、相互に連携して支援することもできますので、どんな小さなことでも御相談いただければと思いました。</p>

まとめ
<p>今回のように段差に対応するスロープのようなある程度大きなものから、見え方、聞こえ方に対応した補助具、コミュニケーションを補助する機器やアプリケーションなど、特別支援学校にはそれぞれの障害種に応じて、合理的配慮に利用いただける教材教具が備わっています。</p> <p>どの特別支援学校に何が、と迷われるようでしたら、まずは身近な特別支援学校に御相談ください。特別支援学校間のネットワークを生かし、可能な限り対応させていただきます。</p>

※具体的な支援内容については、当該校にお問い合わせください。